

2. 有業者の就業状態

—男女ともに有業率が低下—

- 有業率(15歳以上人口に占める有業者の割合)は全体で57.3%で、前回より1.1ポイント低下
男女別では、男性が1.5ポイント、女性が0.9ポイント低下。
昭和54年からの推移をみると、男性は低下傾向にあり、女性は19年に上昇したものの低下に転じている
(全国と同傾向) 全国順位は24位(前回27位) (図2)
- 年齢階級別有業率は、男性は台形型、女性はM字型を示している
女性は30~34歳で大きく上昇、25~29歳、45~49歳で低下し、前回よりM字型が緩やかになり、カーブの底が
「30~34歳」から「35~39歳」へ移行 (図3)
- 産業分類別では、「卸売業・小売業」が20万5千人(有業者に占める割合17.7%)と最も多く、次いで「製造業」
14万8千人(同12.8%)、「建設業」12万7千人(同10.9%)など。(図4)
前回に比べ「医療、福祉」「建設業」などで増加、「製造業」「卸売業・小売業」「漁業」などで減少 (図5)
- 職業分類別では、「事務従事者」が23万1千人(同20.0%)と最も多く、次いで、「専門的・技術的職業従事者」
16万3千人(同14.1%)、「販売従事者」16万2千人(同14.0%)など。前回に比べ「事務従事者」、「建設・採掘
従事者」、「専門的・技術的職業従事者」などで増加。「生産工程従事者」、「農林漁業従事者」などで減少 (図6)

図2 有業率の推移(昭和54年~平成24年)

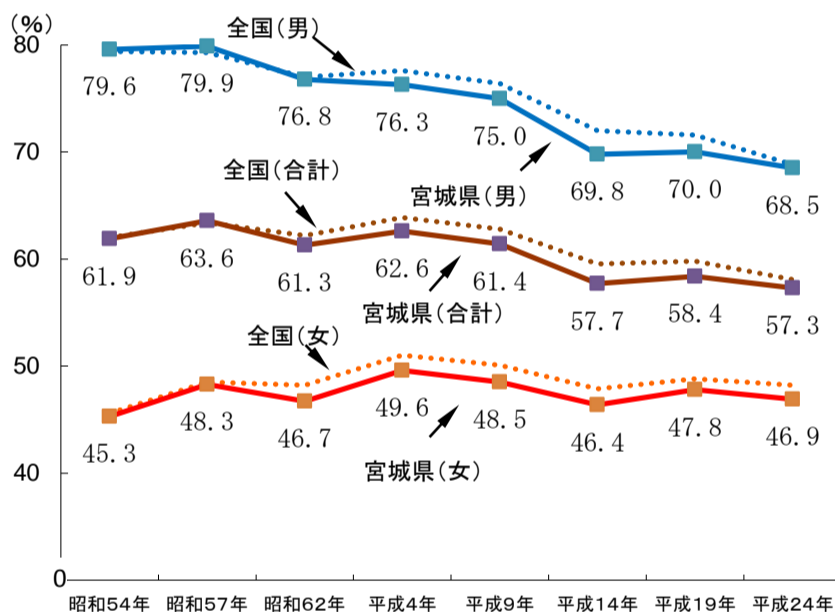


図3 年齢階級別有業率(平成19年, 24年)

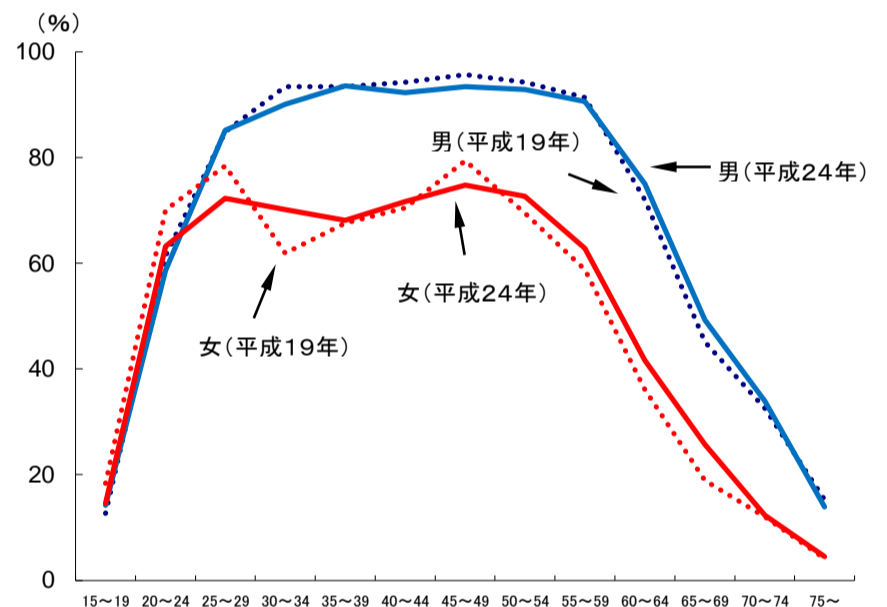


図4 産業分類別の有業者数(平成24年)

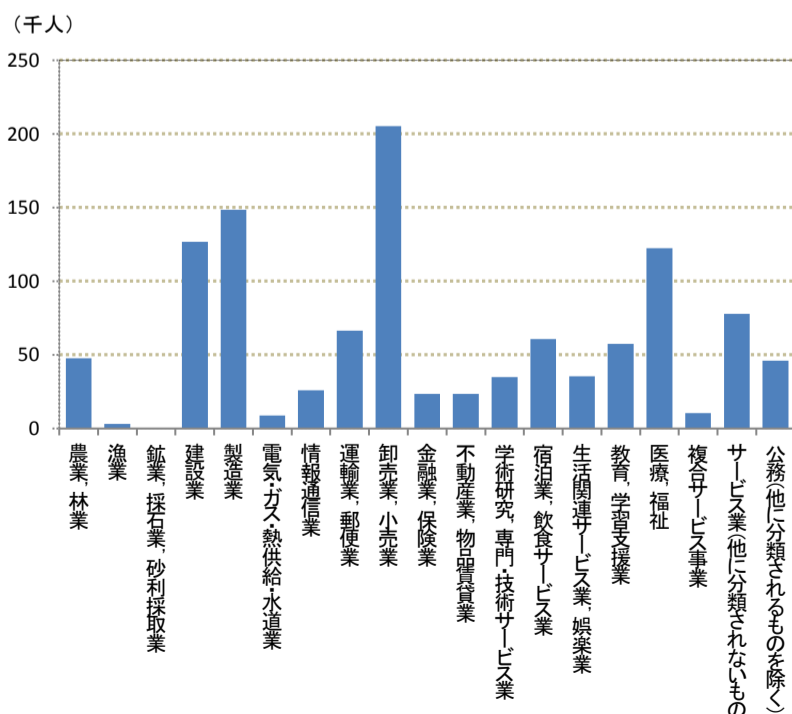


図5 産業分類別の有業者増減数(平成19年→24年)

